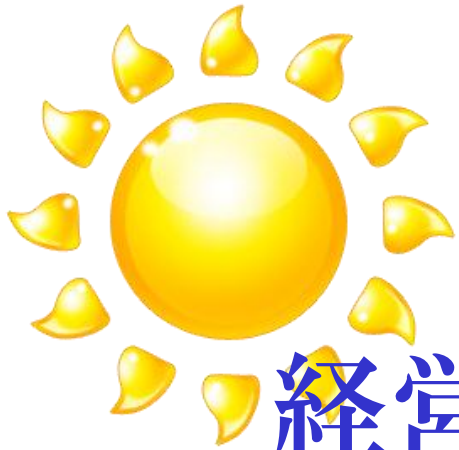




首都大学東京 大学院 社会科学研究所



経営学演習「企業倫理」 # 5

§ 企業の事故・事件に学ぶ、 解決策と企業倫理 §

2013年5月17日

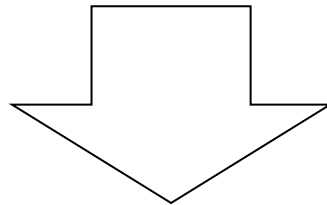
岡本 享二 (おかもと きょうじ)
ブレーメン・コンサルティング(株)

本日の講義の内容と狙い

- 企業の事故・事件・失敗事例から、なにが欠如していたかを検証。
- 法令遵守違反、企業統治の欠如、危機管理の不徹底(未熟さ)などが指摘できるが、原因が複合的なケースが多い。
- この背景として日本におけるマネジメント・システムの活用が十分になされていないことを指摘したい。さらに、社会全体に蔓延している責任回避と大局感の欠如にも注意を促したい。
 - 責任の所在が明確でないために、盥回しにされた挙句、従来からの慣習である、使い方によっては良い効果も認めることのできる柔軟な組織運営を打ち砕く結果にもつながっている。
- **受講生による課題発表**
 - 三井物産「排ガス浄化装置、データ捏造事件」担当:武藤 豊
 - 森ビル「回転ドア事故<<遼ちゃん事件>>」 担当:平井 秀樹
 - 水産高校「実習船フカヒレ事件」 担当:張 藝紅

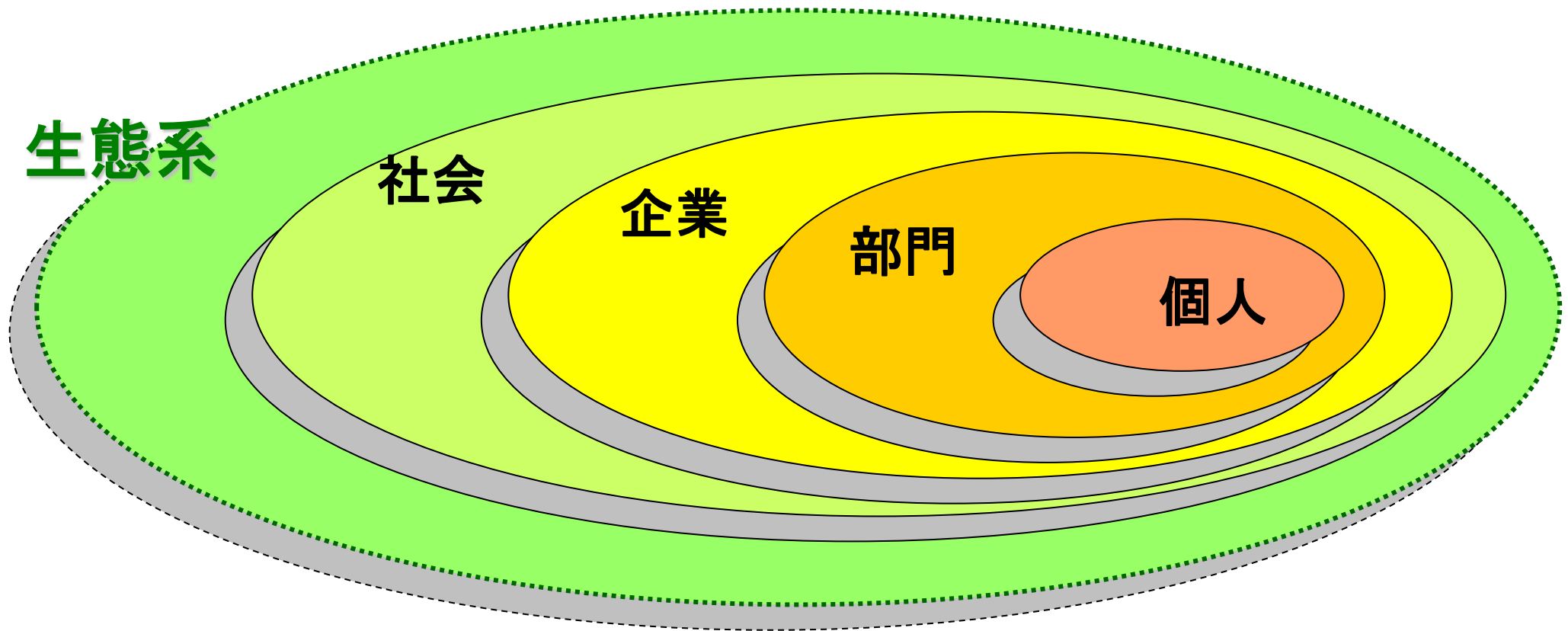
三井物産データ捏造事件

- 排ガス装置浄化装置の必要性と社会的要請を理解する
- なぜ開発社員はデータを捏造するに至ったのか
- なぜ開発社員は捏造したことを告発したのか
- 告発を受けた会社の対応は適切であったか
- 結果として社会的なインパクトと大きな賠償金の負担があった
- コンプライアンス、ガバナンス、リスク管理以外に問題点は？



- 「生態系の図」を思い起こして問題点の本質を探ろう
- マネジメント・システムのあり方に疑問は持たなかったか？

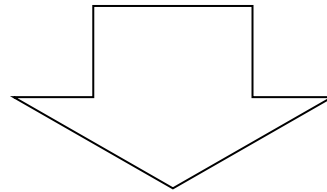
「生態系」という視点



【「進化するCSR」 74ページ 図表4-3】

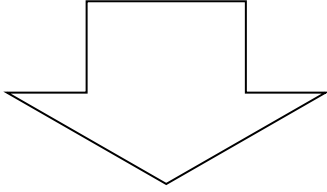
回転ドア一事故《遼ちゃん事件》

- 多くの考えさせる問題点を含んだ事故
 - ハインリッヒの法則は当たっていたか？
 - 森ビルはハインリッヒの法則に即した解決策を施していたか？
 - この事故を通して資本主義の問題点はどんな所に見だせるか
- 森ビルの企業体質に問題はなかったか？
 - 神谷町周辺の開発
 - 城山ヒルズのオープニング式典と地域住民



- 複合的な要因で起こった事故の典型だと思われる。どのような問題点が指摘できるだろうか。
- マネジメント・システムのあり方に疑問は持たなかったか？

水産高校フカヒレ事件

- 単純な事件ではあるが日本社会の変化を表している。
 - なぜ次々と水産高校の不祥事(?)が出てきたのだろうか?
 - 従来からの慣習として許容範囲ではなかったのか?
 - では、なぜ大きな社会問題に発展したのだろうか?
 - マスコミの報道姿勢はいかがなものであったか?
 - 解決策として現在はどのような実態になっているか?
 - 取れたフカの放魚
 - 申告して納金
- 
- この比較的単純な事件には、哲学的な問題でもある「全体と部分」「権限と責任範囲」の問題が含まれている。
 - マネジメント・システムのあり方に疑問は持たなかったか?

ディスカッション #5

- 今回は各事例ごとにディスカッションをした。そこで、次回以降の講義のヒントをまとめておく。
 - 百の事例を検証しても、その問題点の本質を見出さなければ将来の解決にはならない。
 - 事件/事故は担当者レベルの問題以上に、経営層、社会の風潮、マスコミのあり方によって左右される。それゆえ『企業倫理のあり方』とはなにかを真摯に再考していただきたい。
- 次回以降、3回にわたって『マネジメント・システムのあり方と効能』について詳細な講義をする。